

シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「(共通)」

科目情報

< 1/6件 >

科目名

日本事情Ⅱ

講義名

日本事情Ⅱ

クラス

担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

学年

1年、2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

後期

開講時期

(後期)

曜日・時限

木 1

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

g2710020

科目区分

日本事情

単位区分

選必自由

単位数

2

準備事項**備考****特修プログラム****直接参照URL**

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340155050&formatCD=1

教育目標との関係(DPポイント配分)

基盤教育	基盤教育	最新の専門知識及び技術	5	%
		本質を見極めるための教養と学際性	5	%
		協働的な問題探究	30	%

社会の改善につなげる創造性	30	%
市民としての主体的態度	30	%

授業方法

講義、グループワーク、発表、ディスカッション、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

[授業のねらい]

社会的な場面において、適切な待遇表現を用いることにより、周囲を取り巻く日本語母語話者との良好な人間関係が構築できるようになる

[授業の概要]

「依頼する」「ほめる」「わびる」などの際に用いる、敬語をはじめとする待遇表現の理解を深める。さらに実践的な場面を想定して会話文を作成したり、動画を作成するなどして運用力を高める。

単位認定基準

- (a) 授業で取り上げた待遇表現について、理解が深まる
- (b) 動画作成活動を通して、待遇表現の運用力が高まる
- (c) ほかの学生の発表に対して、質問したり意見を述べることができる
- (d) 意見を述べる際には、適切な表現を用い、伝えたいことを正確に伝えることができる
- (e) 授業への出席状況、授業中の発言、課題への取組みから、積極的に授業に取組む姿勢がみられる。

授業計画

1. イントロダクション
2. 待遇表現としての敬語
3. 依頼する①ことばと表現
4. 依頼する②グループワーク（会話文の作成）
5. 依頼する③グループワーク（動画作成）・発表
6. ほめる①ことばと表現
7. ほめる②グループワーク（会話文の作成）
8. ほめる③グループワーク（動画作成）・発表
9. わびる①ことばと表現
10. わびる②グループワーク（会話文の作成）
11. わびる③グループワーク（動画作成）・発表
12. 助言する①ことばと表現
13. 助言する②グループワーク（会話文の作成）
14. 助言する③グループワーク（動画作成）・発表
15. 全体のまとめ

授業計画（週形式）

教材・教科書

授業で使用する教材・プリントは毎回配布する。

参考図書

授業中に指示する。

参考URL

授業中に指示する。

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・発表のために、各グループで準備をすること。
- ・単位制に基づき、少なくとも60時間の授業外学修時間を必要とする。

成績評価の方法

上記の望ましい水準(a)～(e)について、出席状況・授業への参加態度（20%）、提出課題（20%）、平常の発表（20%）、期末試験（40%）より総合的に評価する。

成績評価の基準

- S：単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
- A：単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
- B：単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
- C：単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
- F：単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

オフィスアワー

木曜3限目（事前にメールで連絡すること）

授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

留意点・注意事項

本科目は留学生対象科目である。

教員の実務経験の有無